

平成 27 年度 地球環境基金助成事業・県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」実施報告書 (5)

特定非営利活動法人ちば里山センター

題名	ちば里山カレッジ「里山ボランティア養成コース」 第 5 回講義&里山活動団体の紹介
日時	平成 27 年 9 月 12 日 (土) 9:15~16:30
講師	講義：千葉県農林水産部森林課 副課長 兼 森林政策室長 橋本 信一 日本野鳥の会 千葉県幹事 加藤 恵美子 活動団体の紹介：NPO法人 しろい環境塾 理事長 小池 正夫 特定非営利法人 手賀沼森友会 理事長 保田 行弘、事務局長 松清 智洋 いちはら里山クラブ 代表 風間 俊雄 ちば千年の森をつくる会 坂本 文雄
会場	千葉市ビジネス支援センター多目的室 (千葉市きぼーる 15 階)
出席者	受講生 42 名 (欠席 9 名)・主催者 2 名・スタッフ 1 名
報告	<p>9:15~10:15 講義 「行政からみた里山ボランティア活動」 千葉県農林水産部森林課 副課長 兼 森林政策室長 橋本 信一</p> <p>10:30~12:00 講義 「ちばの美しい自然とそこに生息する生きものたち」 日本野鳥の会 千葉県幹事 加藤 恵美子</p> <p>12:00~13:00 (昼食休憩) (活動団体の紹介)</p> <p>13:00~13:45 NPO法人しろい環境塾の活動について しろい環境塾理事長 小池 正夫</p> <p>13:55~14:40 特定非営利法人手賀沼森友会の活動について 手賀沼森友会 理事長 保田 行弘 事務局長 松清 智洋</p> <p>14:50~15:35 いちはら里山クラブの活動について いちはら里山クラブ代表 風間 俊雄</p> <p>15:45~16:30 ちば千年の森をつくる会の活動について ちば千年の森をつくる会坂本文雄</p> <p>橋本講師は「行政が住民ニーズに応えられない部分をボランティアに依存することが多い。里山ボランティアの課題は、活動の継承 (リタイア世代から現役世代へ)、地域で必要とされる活動の展開、活動資金の調達」の 3 つ」と説明した。</p> <p>加藤講師は季節ごとに整理した写真を示し、生き物の特徴を解説した。見事な写真とカエルの鳴きまねの披露に受講生の眼は釘付けに・・・。</p> <p>午後からは、里山団体の活動が紹介された。しろい環境塾の小池理事長は「15 年間の活動を通じて、地元関係者の信頼を得、協働関係を構築したこと。「楽しくなければ続かない」と活動のルールを示した。</p> <p>手賀沼森友会の保田理事長は最初の 2 年ほどは現状を見て回ることに徹し、整備活動の方針と内容を検討したことを説明し、住宅地の里山では近隣住民の求める里山を実現するお手伝いをするという姿勢が重要と述べた。いちはら里山クラブの風間代表は教育の森で小中学生が活動する様子を紹介し、市原市内 5 カ所の森を回って活動していることを説明した。ちば千年の森をつくる会の坂本講師は作業中心というより植物調査の活動が主だと紹介した。課題としてモニタリング手法のレベルアップ、情報発信、地域との連携をあげた。</p>

添付資料（写真）



橋本信一講師



メモを取る受講生



橋本講師の講義



加藤講師の講義



カエルの鳴きまねも披露



見事な写真に釘付けの受講生



しろい環境塾の小池講師



スライドを追う受講生



地域の信頼が重要と講義



手賀沼森友会の保田・松清講師



保田講師



松清講師



いはら里山クラブの
風間講師



トップダウン方式は
長続きしません



ちば千年の森をつくる
会の坂本講師



「初対面ですかね？」
と坂本講師